2020年 松本地域 県政おもなできごと

≪松本地域振興局·松本保健福祉事務所·松本建設事務所·安曇野建設事務所≫

通年

新型コロナウイルス感染症への対応

有症状者等への対応≪松本保健福祉事務所≫



【PCR検査センターの様子】

松本保健所管内において、2月25日に新型 コロナウイルス感染症陽性者が発生して以 降、24時間体制の有症状者相談窓口での相 談受付や、患者発生時の行動歴の調査等の 対応を続けています。

また、松本圏域で3か所にPCR検査センターを開設し、市村と連携して検査体制の拡充を図りました。

感染拡大防止等の取組≪松本地域振興局≫





【感染防止を呼びかけるために作成した懸垂幕】【事業者への感染防止ガイドラインなどの徹底を呼びかけ】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、広報車、懸垂幕により、新しい生活様式の定着や、誹謗中傷の抑止等の啓発を行いました。また、市村の協力を得ながら、事業者の皆様を訪問し、ガイドラインの周知を図り、感染防止策の徹底を呼びかけました。

3月

「県営住宅アルプス団地5号棟」が完成しました≪松本建設事務所≫



【敷地北東からの全景】



【オール電化を採用】



【アルプス団地の名にふさわしい 北アルプスの景観(5号棟3階)】

県では、安曇野市豊科田沢にある県営住宅と市営住宅が隣接するアルプス団地において、 安曇野市との協働により建替事業を行っています。

昭和40年代前半に建設した長屋型式の平屋建てを鉄筋コンクリート造3階建て共同住宅型式に建替える事業で、令和2年3月に5号棟(21戸)が完成し、4月から隣接の市営住宅に入居されている方を対象とした移転入居が始まり、今年度は、6号棟の工事を行っています。

松本地域「信州ACEプロジェクトマップ」によるおすすめスポット紹介 ≪松本保健福祉事務所≫





【松本地域「信州ACEプロジェクトマップ」】

「史跡や景色を楽しむことができるウォーキングコース」、「地域の新鮮な野菜が並ぶ農産物直売所」、「健康に配慮したメニューが食べられる飲食店」など、松本地域の食や観光の魅力とともに、楽しく健康づくりに取り組むことができるマップを、地元大学生からアイデアをもらいながら、作成・配布しました。

4月

松本農業農村支援センターが発足《松本地域振興局》



【農作物の栽培研修】

地域農業や中山間地域が抱える課題に、農業行政と普及改良の連携を一層強化し、迅速かつ的確に対応するため、地域振興局農政課と農業改良普及センターを統合し、「松本農業農村支援センター」が発足しました。

4月

廃棄物業務の集約化≪松本地域振興局≫



【諏訪地域の廃棄物処理施設での水質検査】

専門性の強化や一層の適正化・効率化を図るために、諏訪地域振興局と北アルプス地域振興局で行っていた廃棄物処理法等に基づく許可申請・届出等の業務を松本地域振興局へ集約・再編し、課名を「環境課」から「環境・廃棄物対策課」に変更しました。

6月 松本地域産業・雇用総合サポートセンターの設置≪松本地域振興局≫

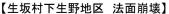


【サポートセンター相談室】

新型コロナウイルスにより経済的影響を受け、支援が必要な事業者の相談・支援対応を充実させるため、松本地域産業・雇用総合サポートセンターを松本合同庁舎に設置し、持続化給付金等の申請サポートを実施しています。(設置期間:令和2年6月8日~令和3年3月31日予定)

7月豪雨災害により各地で被害が発生 《松本地域振興局》《松本建設事務所》《安曇野建設事務所》







【国道158号(松本市安曇中ノ湯) 法面崩壊】



【一級河川 穂高川(安曇野市鼠穴橋下) 護岸決壊】

7月5日から28日にかけて降り続いた豪雨により、松本地域でも道路・河川・山林など広い範囲で被害が発生しました。

これらの被害に対し、国土交通省や林野庁の災害復旧事業、県単独事業で順次、復旧を図っています。

7月

河川の愛護活動に功績のあった団体が日本河川協会河川功労者表彰を受賞



【伝達式の様子】

河川の愛護活動に長年取り組んできた功績が認められ、 「木戸河川愛護会」(安曇野市明科)様が日本河川協会の 河川功労者表彰を受賞されました。

8月

安全登山・山岳遭難防止の啓発活動の実施≪松本地域振興局≫



【感染防止対策を行い啓発活動を実施】

山の日(8月10日)を含む3連休の初日(8月8日)に、松本地域振興局・北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会・松本警察署が合同で、地震や大雨の被害を受けた上高地で安全登山・山岳遭難防止の啓発活動を行いました。

道路の美化活動に功績のあった団体が国土交通大臣表彰を受賞 《安曇野建設事務所》



道路の美化活動を長年続けてきた功績が認められ、「岩原ひまわりクラブ」(安曇野市堀金)様が国土交通大臣表彰を受賞されました。

8月

地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」安曇野市新設区間の 最適ルート帯を決定《安曇野建設事務所》



【最適ルート帯として決定した「Aルート帯」】



【説明会の様子】

令和元年6月から市民に対する説明会を重ね、8月30日の第7回説明会で5つのルート帯案の中から、安曇野北ICを新設して犀川右岸を通り、橋で犀川など三川合流部を通過する「Aルート帯」を最適ルート帯と決定しました。

9月

「野鳥の森ピッキオネイチャーウォッチングツアー」の実施 ≪松本地域振興局≫



【自然観察会】

新型コロナウイルス感染症対策として、参加者を少人数にし、複数の班に分けて「自然観察会」を実施しました。会場は、クマと人との問題をテーマにした環境教育プログラム事業にも力を入れて、総合的なエコツーリズムを展開し、第1回エコツーリズム大賞(環境省主催)を受賞したピッキオ(軽井沢町)にて、ネイチャーツアーに参加しました。(豊かな環境づくり松本地域会議主催)



【信州スカイパークから飛び立とう!】



【ミニ滑走路開港式】

信州スカイパーク ファミリスポーツゾーン南管理棟近くにスカイパークの名にふさわしい新スポット「ミニ滑走路」が誕生しました。

9月

国道254号 松本・三才山トンネル有料道路が無料開放≪松本建設事務所≫



【(国)254号三才山トンネル有料道路無料開放】

9月1日、同有料道路区間15.2kmが無料開放され、県道路公社から長野県(松本・上田両建設事務所)に移管されました。昭和51年三才山トンネル、平成6年松本トンネルが開通し、利用台数は、1億3千万台を越えましたが、無料化により、ますます、東信地域と中信地域の利便性が向上し、産業、文化の交流促進が期待されます。

9月

松本地域食育Webフォーラムの開催≪松本保健福祉事務所≫



【食育Webフォーラム】

地域の食育関係者と大学生を対象とした食育フォーラムを複数の会場を中継するオンライン形式により開催しました。

若い世代へ地域の魅力や食育の重要性を伝えるとともに、withコロナ時代における地域の食育活動を推進するための意見交換を行いました。

10月

信州まつもと広域圏まるごと移住ガイドブックの制作≪松本地域振興局≫



管内3市5村の支援制度や移住者インタビュー等を紹介する「信州まつもと広域圏まるごと移住ガイドブック」を制作し、銀座NAGANO移住・交流センターや名古屋・大阪の移住・交流サポートデスクなどで頒布を始めました。

【信州まつもと広域圏まるごと移住ガイドブック】

11月

令和2年度松本地域「地域発 元気づくり支援金」 優良事例表彰式及び事例発表会の開催≪松本地域振興局≫



令和元年度に実施された69事業の中から、地域の元気を生み出すモデル的で発展性のある優良事例として、知事表彰1団体、松本地域振興局長表彰3団体にそれぞれ授与するとともに、各団体から事業内容の発表を行いました。(11月12日)

【「地域発 元気づくり支援金」優良事例表彰式】

11月

県営畑地帯総合土地改良事業 洗馬妙義地区 安全祈願祭·起工式 ≪松本地域振興局≫



【畑地かんがい施設 完成後のイメージ】

県下有数の葉物野菜(レタスやキャベツ、白菜等)の 生産地として知られる塩尻市の洗馬妙義地区で11月16 日、畑地かんがい施設更新事業の安全祈願祭・起工式 が関係者約50名の出席のもと開催されました。

この事業により、維持管理の大幅な軽減を図り、高品質野菜を生産する担い手への農地集積を目指します。

12月

県道大町麻績インター千曲線の山清路バイパスの開通 ≪松本建設事務所≫



【山清路バイパスの完成】

平成20年に着手した県道大町麻績インター千曲線の山清路バイパスが12月13日に完成し、開通式を行いました。全体延長442mの区間内には、犀川を渡河する延長136mの橋梁も整備し、その名称は、地域の皆さんにご相談し『山清路大橋』となりました。橋からは季節ごとに変わる山清路の景色を見ることができ、また新たな観光スポットとしても期待されます。

12月

「しあわせ信州移動知事室(松本地域)」の開催 《松本地域振興局》 《松本保健福祉事務所》



【管内の市村長と阿部知事との意見交換】



【県政タウンミーティング】

12月15日に松本地域では平成30年以来2回目となる「しあわせ信州移動知事室」を開催しました。

当日は、松本市立病院の視察・関係者との意見交換を始め、管内の市村長との意見交換や、「県民一体となってコロナ禍をどう乗り切るか」をテーマとして、県政タウンミーティングを行いました。